



第73期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871



Top Message

代表取締役社長 社長執行役員

森 拓也

■ 当年度の事業環境と業績概況について

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により依然として厳しい状況が続いており、社会・生活様式を含めて大きな変化が求められています。制約されながらも回復への足掛かりを掴むべく歩を進める経済活動も、感染症の再拡大による緊急事態宣言の発令などで一進一退の状況が続いております。今後は、ワクチン接種の普及とともに緩やかな回復に向かっていくことが期待されますが、今しばらく時間を要するものと見込まれます。

当社グループが属する建設産業においては、防災・減災対策や老朽化したインフラ整備等の建設投資は底堅く進捗している一方で、民間設備投資はコロナ禍の影響により先行きが不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社は「中期経営計画2019」の基本方針・戦略に基づき、持続的な企業成長を目指してまいりました。その結果、好調な土木分野が牽引し、受注高については1,264億7百万円（前期比8.0%増）、売上高は1,172億19百万円（前期比10.9%増）、営業利益は83億96百万円（前期比72.0%増）となりました。

■ 今後の取り組みについて

当社を取り巻く事業環境としては、新型コロナウイルスの長期化による民間設備投資への影響が懸念される一方で、公共工事を中心とする土木分野は引き続き堅調な発注が期待されます。

このような中、当社グループは外部環境の変化に柔軟に対応するとともに、PC業界のトップカンパニーとして建設事業を通じて国民が安全で安心して生活できる社会インフラを提供し、社会の期待や要請に真摯に伝えてまいります。今後においても「中期経営計画2019」の基本方針・戦略を着実に実行し、戦略テーマである「さらなる収益基盤の強化と変革による成長分野（大規模更新・メンテナンス・PC建築・海外事業）の拡大」の実現に向けて取り組んでまいります。また、デジタルトランスフォーメーションの実現による生産性向上をさらに進めるとともに働き方改革や週休二日制を推進し、魅力ある企業を目指してまいります。

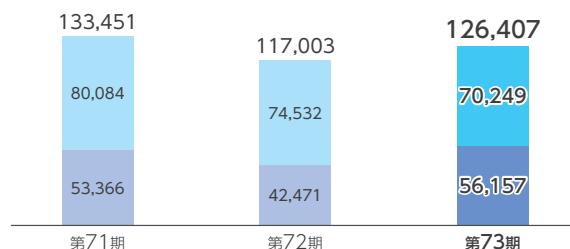
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業環境の大きな転換期を迎え さらなる事業領域の**拡大**に挑戦し 収益基盤の強化で**信頼**される 魅力ある強い企業集団を目指してまいります

■決算ハイライト (単位：百万円) (単位：%)

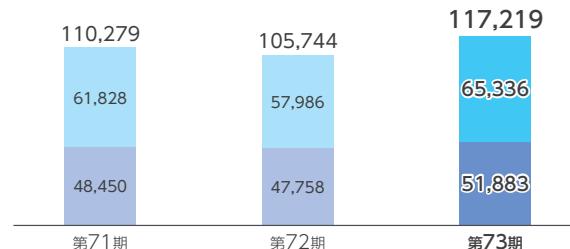
連結受注高

■ 上期 ■ 下期



連結売上高

■ 上期 ■ 下期



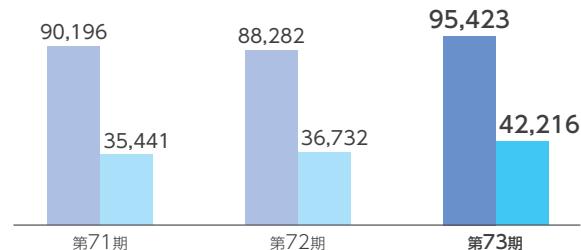
連結営業利益／営業利益率

■ 上期 ■ 下期 ● 上期営業利益率 ● 通期営業利益率



連結総資産／連結純資産

■ 総資産 ■ 純資産



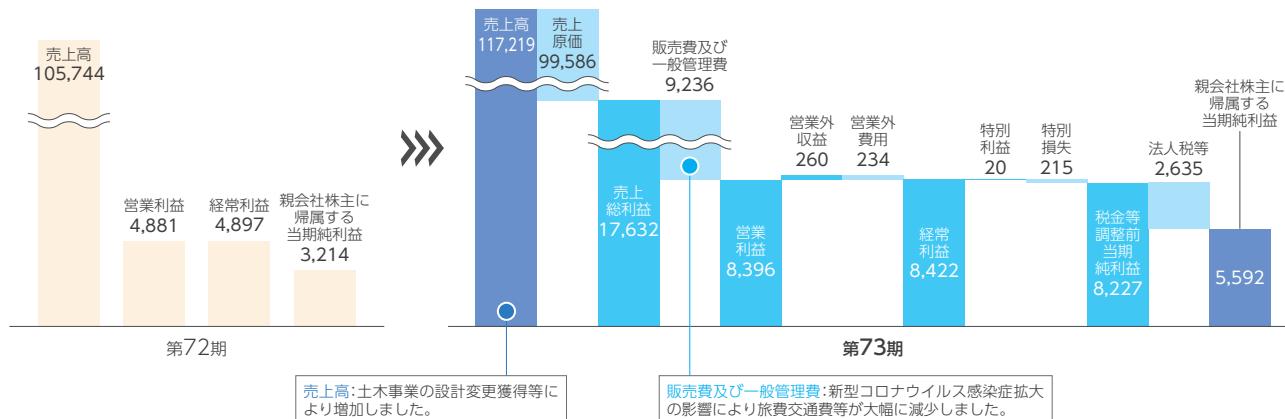
※百万円以下は切り捨てで集計していますので、合計に差異がある場合があります。

連結財務ハイライト

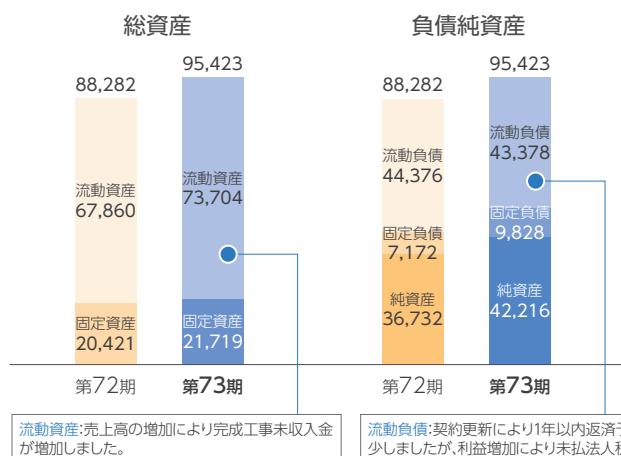
当期のポイント

- ▶ 売上高は大型新設橋梁の完成および設計変更の獲得等により増加
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、売上総利益率の改善、販管費の削減等により2019年3月期に次ぐ好業績

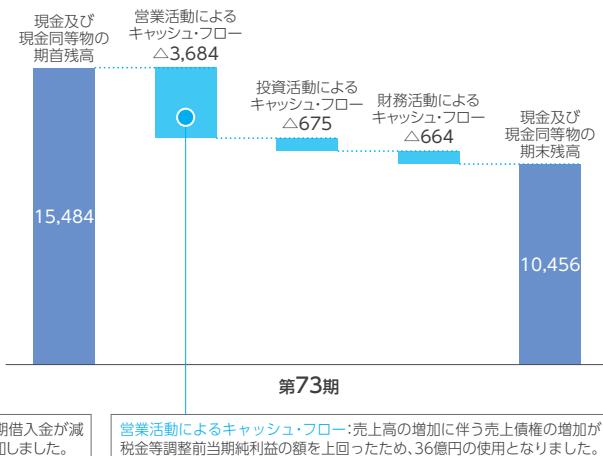
連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



セグメントハイライト

土木事業

受注高 **80,221**百万円
前期比 9.9% ↗

売上高 **73,916**百万円
前期比 16.2% ↗

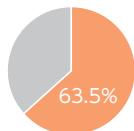
売上総利益 **13,398**百万円
前期比 34.8% ↗



受注高



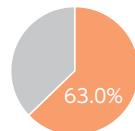
受注構成比



売上高



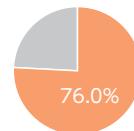
売上高構成比



売上総利益



売上総利益構成比



当期のポイント

受注は大規模更新・修繕工事により、売上・利益は新設工事の設計変更等によりそれぞれ増加しました

建築事業

受注高 **43,887**百万円
前期比 6.2% ↗

売上高 **41,005**百万円
前期比 4.0% ↗

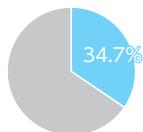
売上総利益 **3,919**百万円
前期比 0.1% ↗



受注高



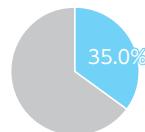
受注構成比



売上高



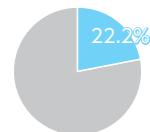
売上高構成比



売上総利益



売上総利益構成比



当期のポイント

病院・自治体発注工事の獲得により受注が増加、売上総利益率は微減も売上高増加により利益維持しました

製造 その他事業

受注高 **2,297**百万円
前期比 14.5% ↘

売上高 **2,297**百万円
前期比 14.1% ↘

売上総利益 **314**百万円
前期比 39.8% ↘

当期のポイント

新型コロナウイルス感染症による影響で旅行部門の売上・利益が減少しました

復旧・復興への道のり ～東日本大震災から10年～

2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生。最大震度7の揺れ、そして巨大津波という未曾有の複合災害により、多くの方の尊い命が奪われました。震災により亡くなられた方々へ改めて哀悼の意をささげるとともに、被災されたすべての方に心からお見舞いを申し上げます。

あれから10年。一刻も早い復興を目指して、国と国民が一体となり復興事業に取り組んできました。

当社グループでもこの10年、多くの復旧・復旧事業に携わってきました。国や地方自治体、その他民間等と一体となり、積極的な対応を行ってきた取り組みをご紹介します。

1 支援活動

[人的要員の派遣]



災害支援要員・既設橋梁調査に当社から派遣

[救援物資の搬入]



東北支店・PSC北上工場へ緊急許可車輛にて搬入

[義援金]

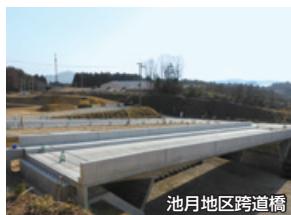
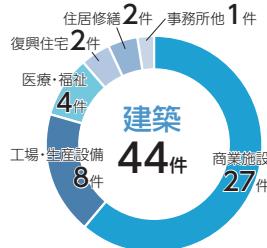
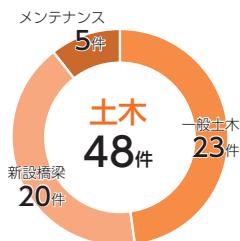
- ・従業員
443万7千円(958名)を
赤十字社に送金
- ・会社
1,000万円を寄付
※三菱マテリアル社および
(一社)日本建設業連合会経由

2 建設業としての当社の取り組み



3

当社グループの施工実績 — 東北地方での元請施工物件を一部ご紹介します



- 野田地区海岸防潮堤
- 越喜来地区敷地造成工事
- 長内川橋
- 室浜トンネル
- 湊橋
- 梁川トンネル
- 宇部2号橋
- 田老漁港取付橋(その1)
- 深沼北工区南部第1復旧工事
- 巨理・山元農地海岸工事用道路
- 池月地区跨道橋
- 14号線橋梁
- 広前地区橋梁下部工
- 堤下地区工事
- 蔭磯橋
- 天神大橋
- マイヤ大船渡店新築
- 釜石飼料(株)災害復旧
- 小野食品第1工場新築
- 仙台市あすと長町復興公営住宅新築
- 石巻市虻田南災害公営住宅新築
- 特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム新築
- キリンビール仙台工場製品倉庫エリア建物・構造物復旧
- ヨークベニマル塩釜店災害復旧
- 南湖こころのクリニック震災復旧
- メガステージSC震災復旧
- ひもろぎの園震災復旧

4

今後の防災・減災に向けた取り組み

高品質・高耐久性、現場での省力化が図れるプレキャスト化に加え、高い安全性を確保できるPCの利点を活かし、沿岸地域での津波避難施設・人工地盤の需要に応じてまいります。

また、沿岸地域だけでなく、昨今の台風等による水害など、今後起こりうる災害への対策の一翼を担える取り組みに積極的に挑んでまいります。

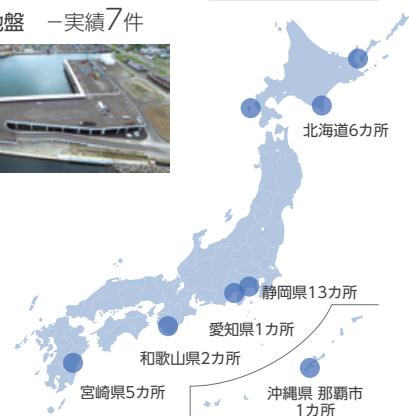
津波避難施設
— 実績18件
施工中3件



人工地盤 — 実績7件



当社施工の防災施設



PC梁の開孔補強工法の開発 -ダイヤレンPC工法-

プレストレストコンクリート(PC)梁の新たな開孔補強工法を開発し、(一社)日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました。

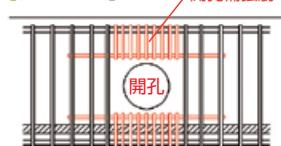
建築物の梁には、設備配管等を通すために丸い貫通孔(開孔)を設ける場合があります。梁に開孔を設けることで、開孔を設けず梁下に配線・配管する場合と比べて、階高を抑制できることや、同階高で天井を高くすることが可能であり、コストメリットや居室空間の開放感・高級感を創出できるメリットがあります(右下図)。

今回開発した開孔補強工法は、既製の鉄筋コンクリート梁用補強筋(ダイヤレンNS)をPC梁にも適用できるようにしたものです。従来のPC梁の補強工法に比べ構造検討の合理化を図り、配筋作業が簡素化できるため(左下図)、開孔設置位置の変更等にも迅速に対応できるようになり、幅広い建物へのPC造利用拡大の一翼を担うことが期待されます。

※本工法の開発は、当社、建研、オリエンタル白石、コーリョー建販の共同開発です。

配筋組立作業・構造検討の従来比較

【従来工法】



煩雑な構造検討や複雑な配筋作業が必要

【新工法】



開孔サイズに合う製品を開孔補強筋として設置するのみ

-ダイヤレンPC工法のメリット-

高層集合住宅では、階高抑制効果により
予定戸数を**最大化**

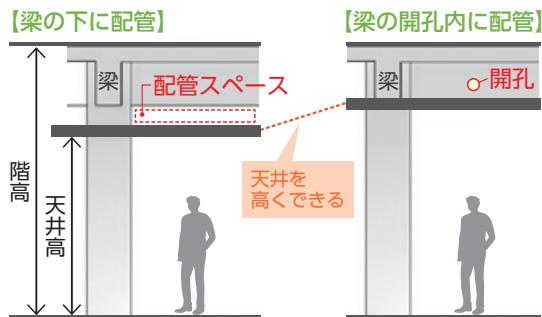
低層集合住宅では、天井高を上げることで
開放感・高級感を創出

開孔補強筋の複雑な配筋組立作業を**省力化**

開孔部の煩雑な構造検討を**合理化**

PC造の利用拡大

配管設置位置による比較



interview

■ 開発プロセスは？

4社で「PC有孔梁研究会」を設立し、構造実験を実施しました。PC梁の開孔部の破壊状況を確認し、ダイヤレンNSを使用した場合の安全性評価を行い、設計方法を構築しました。

■ 開発に携わって学んだことは？

この開発は、私が技術部に配属されてチームの主担当として初めて手がけた仕事でした。2年がかりの開発を通じて実験の重要性や共同研究の意義など学んだことも非常に多く、この経験を次の技術開発にも活かしたいと思っています。

■ 今後の見通しは？

昨年9月に建築技術性能証明を取得後、現場からの問い合わせが多数きており、採用を決定した現場も4件あります。今後はPC梁開孔の補強工法として定着していくと確信しています。



技術本部技術部
建築技術グループ
多久和 大海

北海道赤レンガ建築賞を受賞（夕張市拠点複合施設「りすた」）

当社が施工した「夕張市拠点複合施設『りすた』」(2019年竣工・北海道)が令和2年度(第33回)北海道赤レンガ建築賞を受賞いたしました。

※北海道赤レンガ賞とは
北海道と建築関係団体5団体が主催する建築賞。
地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物を表彰。

現場所長からの受賞コメント

夕張市にとって地域に根差したまちづくりの推進を担う新しい拠点となる施設の建設に携わり、そして北海道で伝統あるこの賞を受賞でき、大変光栄に感じております。
今後も受賞を励みにより一層精進してまいります。

石川 卓所長



OVERSEAS

ベトナム企業との 包括的事業提携契約を締結

このたび、ベトナム北部での事業推進を図るべく、同地域でのプレキャスト事業のパイオニアであるスンマイ社と包括的事業提携契約を締結いたしました。

締結に際し、東京・ハノイの両本社をオンラインで繋いだ調印式が執り行われました。

本提携により、ベトナム北部での営業力の強化およびプレキャスト製品製造拠点を確保することで、当社が既に拠点を持つベトナム南部に加えベトナム全土でのプレキャストコンクリートを中心とした事業展開を図ることが可能となります。

中期経営計画2019に掲げられている『海外事業拡大』に向け、ベトナムでの建築事業への参入など、製品供給に留まらない事業領域の拡大を目指します。



調印式の様子（握手を交わす当社森社長とスンマイ社Son会長）

主な提携分野

プロジェクトごとの連携	営業協力	
技術提携	設計協力	人材交流

CSR活動

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、例年のような活動ができない状況でしたが、建設業や当社への理解をより一層深めていただくために感染防止対策を講じながら「地域社会への貢献」の一環として実施できたCSR活動の一部をご紹介します。

インクルーシブフットボールフェスタ広島2020へ協賛

パラリンピック等により、障がい者の方々はスポーツを行う環境が整えばさまざまなスポーツを行うことができるという認識が広がっており、障がい者の方々とスポーツを通して交流し、体験する機会を持つことは共生社会を形成することに繋がるとの考えがあります。

そこで、今回初めて「インクルーシブフットボールフェスタ広島2020」に協賛いたしました。新型コロナウイルス感染対策としてオンラインでの開催となった本フェスタには大勢の方々が参加しており、障がいの有無に関わらず参加しやすいアクティビティを楽しんでいました。今後も微力ながらこのスポーツを広げていくことに何らかの形で携わっていきたいと考えています。



上) 試合の様子
左) オンラインの様子
(写真提供: JIFF)

インクルーシブフットボール (Inclusive Football) とは

障がいの有無に関係なく、誰もが一緒に楽しむ「まぜこぜのサッカー」のこと



▲ 寄贈した配置図

「水利配置図」寄贈により感謝状を受賞

静岡県河津町にある現場作業所において、河津消防団に「水利配置図」を寄贈し、感謝状を受賞しました。

「水利配置図」とは、消防活動に活用できる水利施設を航空写真に記したもので、河津町消防団第6分団に元々あった配置図が老朽化していたことから、社会貢献活動の一環として寄贈しました。高さ0.9m、幅3.6mの配置図は分団詰所に取り付けられ、消防団の使命である生命・財産を守る際に活用され、また新入団員の訓練にも活用していただけるとのことでした。

今後もさまざまな形で地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。

「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」をCSR基本活動方針に掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念の実現に向けて、社会との繋がりを考えた事業活動を行っております。また、そのためのPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、充実したCSR活動を行うことでステークホルダーの皆様からの信頼向上を図るべく取り組んでいます。

CSR報告書2020

当社ホームページ内の「CSR報告書」にて、CSR活動の情報がご覧いただけます。

アドレスはこちら ▶ <https://www.psmic.co.jp/about/csr/>



完成工事のご紹介・・・土木編



阪和自動車道 みなべ高架橋他2橋(PC上部工)工事 [和歌山県]

阪和自動車道は、大阪府松原市を起点とし、和歌山県和歌山市内を經由して田辺市までの延長128.9kmの自動車専用道路です。

本工事は暫定2車線区間であった御坊～南紀田辺区間の4車線化事業であり、橋長660mのPC橋上部工工事です。

近年の交通量増加による渋滞緩和と、災害時のライフラインとして寄与することが期待されております。





北陸新幹線

第1下粟津橋りょう (PCけた)

[石川県]

本工事は、北陸新幹線(金沢～敦賀間) 125km間のうち、石川県(315m)と福井県(426m)に架かるPC橋上部工工事です。

全線開業後は、大都市圏との移動時間が大幅に短縮されることで、人々の交流が増え、経済波及効果が期待されています。

一般国道343号 (仮称) 渋民トンネル築造工事

[岩手県] (正式名: 舘下トンネル)

本工事は、岩手県が「復興支援道路」に位置付ける一般国道343号線の道路整備事業の一環で、NATM工法による延長311mのトンネル築造工事です。

県南地域と三陸沿岸地域を結ぶ道路ネットワークが強化され、安全性の向上、物流の効率化や産業振興などが期待されています。



二級河川久慈川筋長内町地区ほか 付替市道橋りょう上部工事 [岩手県]

東日本大震災による津波で甚大な被害を受けたことで、岩手県が三陸高潮対策事業の一環として行った河川堤防の嵩上げに伴う橋梁架替工事（橋長275mのPC橋上部工事）です。

この事業により、津波から市民の生命と財産を守り、さらには町づくりの発展の礎となる道路（橋梁）として期待されております。



平城西配水池更新工事 [奈良県]

本工事は、平城西配水池の第4次総合計画の配水池耐震補強事業に基づき、1972年に建造された旧配水池の建て替え工事です。（高さ22mのPC構造高架水槽工事）

市民のライフラインとしての水道を将来にわたって持続していくことが期待されております。



桜木町駅舎

YRP 横浜ロープウェイ駅舎建設工事 [神奈川県]

本プロジェクトは、「JR桜木町駅前」と新港ふ頭の「横浜ワールドポーターズ前」間の約630mをつなぐロープウェイ『YOKOHAMA AIR CABIN®』の2ヶ所の駅舎を当社が施工しました。

「みなとみらい21地区」のさらなる観光振興と賑わいの街づくりに貢献し、安全かつ快適に、そして楽しい施設に仕上げています。



運河パーク駅舎



運河パーク駅よりゴンドラが出発

照明デザイン(株)石井幹子デザイン事務所

オートガーデン すりーだいや改築工事 [福岡県]

九州三菱自動車販売株式会社創立70周年記念事業の一環として計画された本件建物は、「Yakuin3」と名づけられました。

1階をコミュニティースペース、2階を三菱自動車ショールーム、3階をKMGホールディングス・九州三菱自動車販売の事務所、4～8階を賃貸用事務所とし、新たな薬院地区のランドマークとなっています。



サン・エクスプレス藤沢事業所 第一建物新築工事 [神奈川県] PC工事

本物件は、PCaPC造+曲面すべり支承の免震構造の精密機器の倉庫です。

工期の短縮、重積載・大スパン構造を実現するために、当社の強みであるPCaPC工法が採用されました。

また、PCaPC工法と相性が良い免震構造を用いて、地震後も倉庫業務が継続できるように設計されています。



夕張市認定こども園建設工事

[北海道]（建築主体）

本物件は、夕張市の「コンパクトシティ構想」の一環として同市郊外にある幼稚園と保育園を統合再編する形で幼保連携型の認定こども園を新規開園するために計画され、2020年9月に竣工しました。

旧小学校跡地でもある特徴的な立地条件から「ゆうばり丘の上こども園」と市民による公募で名付けられました。



園庭側より



園庭サイド正面より

リーブルグランド神楽坂新築工事

[東京都]

本物件は、新宿区の目白通り沿いに立地した、鉄筋コンクリート造地上11階建て、延床面積2,222.39㎡、総戸数49戸の高級賃貸マンションです。

洗練されたモダンなファサードと、シックでかつ清潔感のあるエントランス、充実した設備が特徴となっています。



ファサード



エントランス



ネットワーク の強み

ストック事業からメンテナンスまでを手がける商社として グループならではの連携したサービスを提供しています

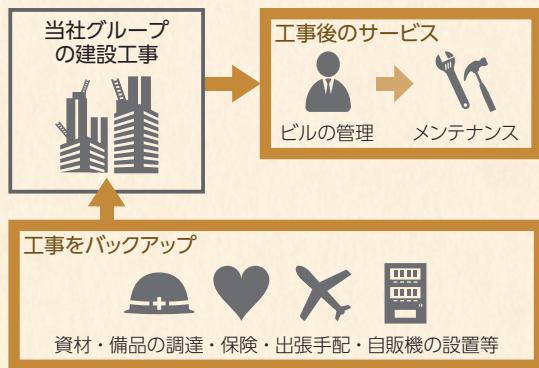
当社グループは、基礎工事、コンクリート部材製作、土木・建築工事用資機材提供、不動産のメンテナンス・リニューアルなど、建設関連分野においてひとつのバリューチェーンが形成されています。今回はグループ内外で「仕事・衣・食・住・旅」をバックアップする総合商社である「菱建商事株式会社」をご紹介します。

菱建商事株式会社

保険代理業、旅行代理業に加え、建設資材を中心とした商社機能、不動産管理・仲介、リニューアル工事を営む菱建商事。工事を縁の下で支えるだけでなく、時には当社グループが建設した建物を管理し、点検・補修などのアフター

サービスまでを担うという連携したサービスを提供することもできるのはグループならではの大きな強みです。

このような『グループ力』を結集し、グループ経営という視点であらゆるコラボレーションの機会を探り、連携を深めながら、需要の拡大に応え得るさまざまな付加価値の創造を目指しています。



ピーエス三菱が建設した建物を菱建商事の不動産部で管理し、同社で建物のメンテナンスも手がける



PPA事業者として参画



太陽光発電パネルの設置の様子

三菱マテリアル社が進める「PPAモデルによる太陽光発電設備の運転への取り組み」にPPA事業者として参画しています。菱建商事で太陽光発電設備を設置し、電力を供給しています。

※PPA(Power Purchase Agreement)モデルとは、電力需要家の土地や屋根を借り受け、太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力を需要家に販売する事業モデルのこと

歴史探訪

(高度成長期終焉の施策転換)

菱建商事が旧三菱建設の子会社として創業した1979年は、ドルショック・オイルショックの影響により高度成長から低成長へ移行変わった時代でした。

合併前の旧ピー・エスは地域密着型の営業体制を強化すべく営業所の開設に注力し、旧三菱建設は営業重視だけでなく発想の転換や組織体制固めに重点を移すなど、高度成長期の終焉を乗り越える施策を打ち出し取り組んでいました。



20年ほど前、三菱建設が社宅兼マンションとして建設したマンションを現在も菱建商事が管理

会社情報

■ 会社概要

商号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設立	1952年3月1日
資本金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,110名 (2021年3月31日現在) 連結：1,701名
本社・支店	(2021年4月1日現在)
本社	〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9611
札幌支店	〒001-0010 北海道札幌市北区北10条西二丁目13番地2 (011) 717-2133
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0016 広島県広島市中区鞆町13番15号 (082) 223-5092
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 (092) 739-7001

■ 役員 (2021年6月22日現在)

取締役および監査役

代表取締役社長	森 拓也
代表取締役副社長	蔵 本 修
代表取締役	居 村 昇
取締役	小 山 靖志
取締役	三 島 康造
取締役	佐 野 裕一
取締役	中 野 幸正
取締役	加 藤 秀樹
取締役	保 坂 美江子
常勤監査役	朝 倉 浩
常勤監査役	水 嶋 一 樹
常勤監査役	正 木 慎一

(注) 取締役佐野裕一、中野幸正、加藤秀樹、保坂美江子の4氏は社外取締役であります。

監査役朝倉浩、水嶋一樹の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社長執行役員 (全般統理)	森 拓也
※ 副社長執行役員 (社長補佐・土木本部長・ 海外事業担当兼国内関係会社担当)	蔵 本 修
※ 専務執行役員 (建築本部長)	居 村 昇
※ 常務執行役員 (管理本部長)	小 山 靖志
※ 常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当)	三 島 康造
常務執行役員 (経営企画担当・ 建築本部副本部長)	川 原 利朗
常務執行役員 (東京建築支店長)	光 田 秀幸
常務執行役員 (東京土木支店長)	森 島 修
執行役員 (大阪支店長)	藤 原 博之
執行役員 (建築本部副本部長兼建築部長)	寒 川 勝彦
執行役員 (建築本部副本部長 兼建築営業部長)	宮 岡 良幸
執行役員 (海外事業室長)	榎 谷 孝志
執行役員 (名古屋支店長)	田 原 道和
執行役員 (土木本部副本部長)	櫻 林 美津雄

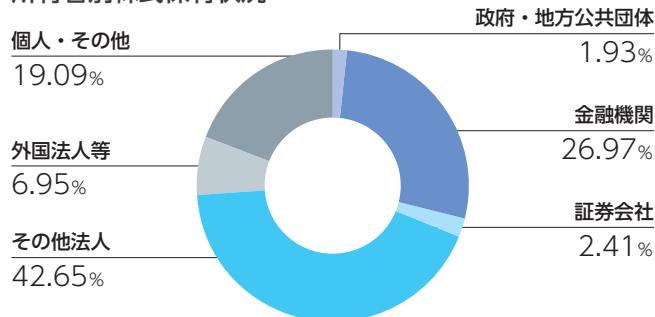
■ 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	9,693名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
三菱マテリアル株式会社	15,860,354	33.48
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,491,300	9.48
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,402,700	7.18
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	1,964,100	4.14
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.87
岡山県	839,740	1.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	818,794	1.72
岩崎 泰次	500,300	1.05
三菱地所株式会社	496,000	1.04
RE FUND 107-CLIENT AC	479,871	1.01

所有者別株式保有状況



株主様アンケート結果のご報告

第73期中間株主通信において実施させていただきましたアンケートでは、大変多くの株主様にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の株主通信の発行およびIR活動に活かし、取り組んでまいります。

当社の株式を購入された理由 (複数回答)



充実を希望する情報について (複数回答)



ご意見・ご要望 (要旨抜粋)

- ・新しい施工技術を開発する姿勢がよい。日本がより海外の信頼を得られるように頑張してほしい
- ・ピーエス三菱の事業内容は社会になくってはならない事業だと確信した。安定成長を願う
- ・自動計測技術などコロナ禍での無人化は有益と考える。単純作業の自動化による人材の有効活用に期待

ホームページのご案内

財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

<https://www.psmic.co.jp/>



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com> **いいかぶ** **検索**
アクセスコード 1871

 **空メールによりURL自動返信** kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

 ●本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: info@e-kabunushi.com

表紙の説明

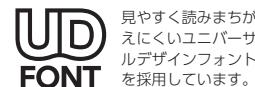


本工事は、新東名高速道路の新御殿場IC—御殿場JCT間7.1kmのうち、1.5kmをPC上部工（一部鋼橋）で施工しました。同時期に開通する国道138号バイパスと接続されることで、富士山周辺、箱根、伊豆方面への観光促進による地域活性化が期待されています。

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。
また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。